

広報いびがわ 2026年10月25日発行 No.261

いびがわマラソン成績優秀者が
セントジョージ市を訪問し、
セントジョージマラソンに参加しました。
(関連記事4ページ)



Contents

- 特集いびがわマラソン2026 2
- まちの話題 4
- 生涯学習の広場 6
- キッズコーナー 8
- Let's Go! スクール 10
- 図書館へ行こう 12
- 健幸にここにコーナー 13
- 議会だより 14
- Information Room 19
- 岐阜県からのお知らせ 27
- 窓口だより 28

ハッピーバースデーコーナー!

1月中に誕生日を迎える方を募集します。

大切な方の誕生日のお祝いを広報いびがわにお手伝いさせてください。
顔写真と、メッセージをつけて、掲載します。年齢は問いません。お子さん
からお年寄りまで大歓迎!



申込方法

左の二次元コードからアクセス
して専用フォームからお申し込み
ください。

1月生まれの締め切りは、
11月25日(水)です。(先着6人)

掲載例



〇〇〇ちゃん
〇歳の誕生日
おめでとう!
大好きだよ!



2026

11 / 8 日

応援する人もボランティアも、
ランナーと一緒に走ってる

いびがわマラソン2026大会には、全国から
5,158人のランナーがやってきます。

スペシャルアドバイザーの高橋尚子さんは、
開会式、スタート時だけでなく、コースでも
ランナーと一緒に走りながらサポートされます。

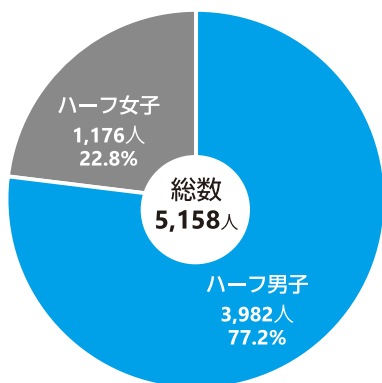
応援する人、ボランティアで参加する人、
ランナーとして参加する人、みんなが一体と
なって、大会を盛り上げていきましょう。



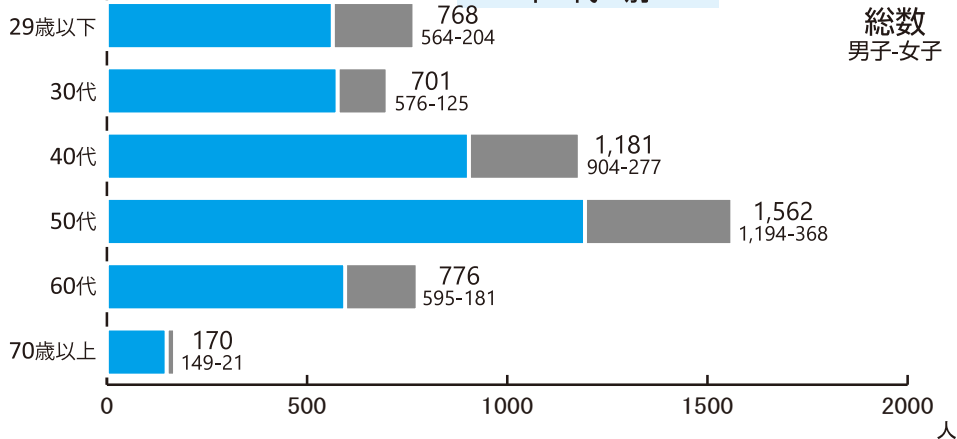
メイン会場	地域交流センター はなもも周辺
ゴール会場	揖斐川町役場
選手受付	7:00 ~ 9:00
開会式	8:20 ~ 8:40
ハーフマラソン スタート	9:30
ウォーキング スタート	ハーフ後方より
競技終了	12:30
いびがわマラソン公式YouTubeから Live配信(提供:大垣ケーブルテレビ) 9:15 ~ 12:30	

ランナーのエントリー状況

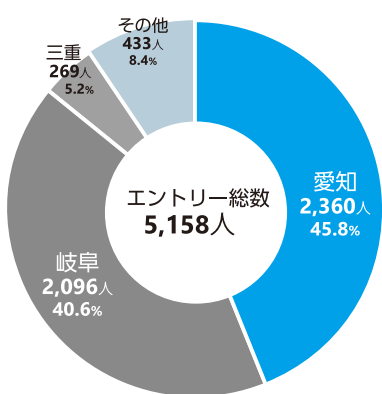
種目別



年代別



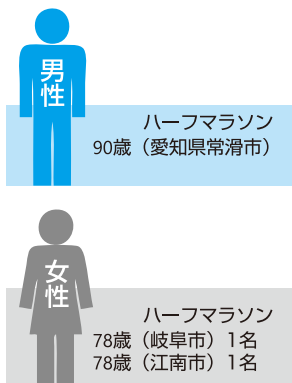
地域別



その他

北海道	9	富山	8	和歌山	1
青森	1	石川	17	島根	2
岩手	2	福井	14	岡山	5
山形	1	長野	18	広島	1
茨城	1	静岡	41	徳島	4
埼玉	16	滋賀	47	香川	1
千葉	16	京都	21	高知	1
東京	66	大阪	49	佐賀	2
神奈川	32	兵庫	29	鹿児島	1
新潟	6	奈良	12	海外SG	9

種目別最高年齢





こころを楽しんで!



ランナーのお楽しみ企画をご紹介します!

東海学院大学 チアリーディング部 Muzeが全力で応援

明るく元気な応援があなたをゴールへと導きます。
どこで会えるかお楽しみに!!



いびがわマラソンの魅力の一つが沿道の応援です。応援は、ランナーみんなの元気の源。今年は、チアリーディング部の大学生に、メイン会場のステージ(8時~)や、コース上で応援してもらえます、お楽しみに!

とう しゅ こう

頭首工ちゃんが待ってる!

みんな見た? 昨年デビューした頭首工ちゃんです。
思えば、いびがわマラソンを第1回から、見守ってきた頭首工ちゃん。今年も、Cuteな頭首工ちゃんが待っています。
あったかい、想いを受けとってね。メイン会場のステージにその言葉を掲げます。



ランナーの皆さん
私のメッセージを
受け取ってね!

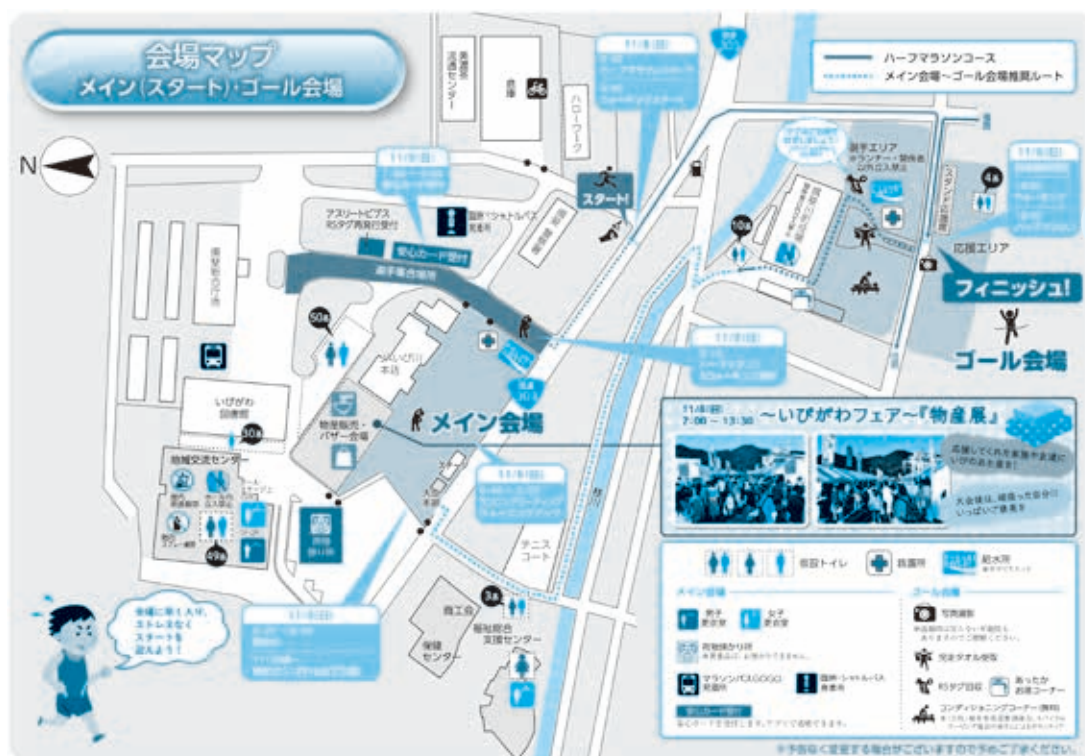
頭首工ちゃんと
映える写真を撮って
事務局へ送ってね!

岡島頭首工は、「西濃用水」のスタート地点。
ここで取り入れられた揖斐川の水は、田畑を潤し、お米や野菜などの栽培を支えています。
その頭首工ちゃんが、今大会も大活躍しますよ。



スタート・ゴールを楽しもう!

メイン会場では、開会式や表彰式がおこなわれます。スタート地点では、4,500名を超えるランナーが一斉にスタートするので、とても壮大です。また、ゴール会場には、応援席もあり、ゴールするランナーを間近で迎えることができます。いずれも、スペシャルアドバイザーの高橋尚子さんが登場しますので、併せてお楽しみください。



会場には、指定駐車場から、シャトルバスでお越しください。
詳細は、大会ホームページをご覧ください。



要望活動の実施について

8月31日(月)、岡部町長が、財務省、国土交通省、独立行政法人水資源機構および地元選出の国会議員に対し、要望活動を実施しました。

《要望内容》揖斐川河川整備事業・越美山系砂防事業・木曾川水系連絡導水路事業・町道事業などに係る予算の確保および事業の推進

《主要要望先》国土交通省佐々木副大臣／国土交通省水管理・国土保全局長／本局長／国土交通省道路局杵掛局長／財務省主計局橋本主査／水資源機構岡村理事長／棚橋衆議院議員／渡辺参議院議員／若井参議院議員



▲【国土交通省】棚橋衆議院議員(右) 立会いのもと、佐々木副大臣(中)へ要望書を手渡す岡部町長



▲【水資源機構】岡村理事長(左)へ要望書を手渡す岡部町長



▲【財務省】棚橋衆議院議員(右) 立会いのもと、主計局 橋本主査(中)へ要望書を手渡す岡部町長

災害時における物資および道路啓開等の支援に関する協定を締結しました

9月15日(火)、自然応用科学株式会社と災害時における物資および道路啓開等の支援に関する協定を締結しました



▲締結式の様子



▲ランナーの皆さん

した。

協定締結先である同社は、谷汲地域に事業所を新設し、汲み上げた地下水をペットボトルにして販売していることから、今回災害時において、飲料水の提供および自社の重機を使用した倒木や土砂の除去について支援をいただけることとなりました。

締結式で岡部町長は、「この度の熊本地震でも多くの地域で断水が発生しており、本町でも同様の事態は想定される。同社から災害時に飲料水提供の話をしていただけたのは大変ありがたい。これからも町の安心安全のため、ご支援ご協力をお願いしたい」とあいさつしました。

今後も、町の安全安心なまちづくりのため、必要な防災対策を進めていきます。

セントジョージマラソン 国際交流事業

9月30日(水)から10月7日(水)まで、アメリカ合衆国ユタ州セントジョージ市とのマラソン交流事業が行われました。2025年のいびがわマラソンで優秀な成績を収めたランナーの皆さんが、10月3日(土)開催のセントジョージマラソンに参加されました。

成績は次のとおりです。(敬称略)
酒井 一 2時間17分8秒

森 裕二 3時間7分32秒
(男子フル 3位)(年代別 3位)

御田村 智子 5時間23分6秒
(女子フル 1587位)(年代別 25位)

※安留ゆかりさんは、体調不良のため棄権されました。



▲右二人目から順に、山本会長、赤田さん、牧村さん、下吉さん

揖斐川ライオンズクラブから揖斐川吹奏楽部へ楽器が寄贈されました

9月3日(木)、揖斐建設会館で、揖斐川ライオンズクラブから揖斐川吹奏楽部への楽器贈呈式が行われ、山本直人会長から揖斐川吹奏楽部部長の赤田柚さん、副部長の牧村柚希さん、下吉空美さんへ目録が手渡されました。

この度の寄贈は、揖斐川ライオンズクラブ65周年を記念したもので、ホルンとクラリネットが贈られました。贈呈式で赤田さんは「楽器は私たちの財産です。これからも楽器を大切に使って、部員みんなで成長していきたいです」と感謝の言葉を語りました。

友好都市・北海道芽室町で開催されたゲートボール大会に出席しました

毎年8月末に芽室町で開催されている「第39回発祥の地杯全国ゲートボール大会」の開会式に町長と副議長が出席しました。

芽室町はゲートボール発祥の地です。1947年、鈴木栄治(のちに改名して和伸)が芽室町で、ヨーロッパの伝統的な競技「クロッケー」をヒントに、戦後の混乱の中で満足な遊具がない子どもたちのために「手軽に遊べる健全なスポーツ」として考案しました。大会には全国から48チーム284名、最年少10歳から最高齢94歳が参加しました。幅広い世代の方がひとつのコートでプレーできるのもゲートボールの特徴です。

揖斐川町からは友好の証として上位入賞者に特産品を贈呈しました。



▲開会式で始球式を行いました

中学生・高校生海外研修派遣事業派遣認定書交付式

9月25日(金)、揖斐川町役場で令和8年度中学生・高校生海外研修派遣事業派遣認定書交付式が行われました。

この事業は、マラソン交流を続けているアメリカ合衆国ユタ州セントジョージ市に、町の将来を担う中学生と高校生を派遣し、現地の人々との交流を通じて、文化や歴史などを学び、国際性豊かな人材の育成を図ることを目的として行われています。今年度の派遣は、第27回目となります。

派遣される18名の生徒は、町長から派遣認定書を手渡され、意気込みを語りました。なお、派遣期間は、来年1月15日(金)から22日(金)の予定です。



▲派遣認定書を受け取る生徒

揖斐川町住民避難訓練および、避難所設営・運営訓練を実施しました

9月27日(日)、南海トラフ地震を想定した、揖斐川町住民避難訓練および避難所設営・運営訓練が行われました。訓練は、静岡県駿河湾から紀伊半島南東沖を震源とする地震が発生したことを想定したもので、町内全域を対象として避難訓練を実施し、その後、胫永公民館および各振興事務所管内の会場で、避難所設営・運営訓練を実施しました。

主会場の胫永公民館では、ぎふ防災・減災センターによる防災講演、岐阜県防災課によるLINEを活用した避難所チェックインの実証実験、揖斐川町社会福祉協議会によるボランティアセンター開設訓練および揖斐川町消防団胫永分団による防災設備(防災井戸、かまどベンチ、マンホールトイレ)の実演などさまざまな取り組みが行われ、地域と一体となって防災意識を高めました。



▲防災訓練の様子

企業版ふるさと納税を活用して寄附をいただきました

8月28日(金)、株式会社野田クレーン様(大垣市)より100万円を、また、9月25日(金)には、株式会社ナヴィック様(愛知県名古屋市中区)より電子タッチモニター4台(220万円相当)を、企業版ふるさと納税制度を活用して寄附いただきました。

また、両社には多額の寄附に対し、岡部町長より感謝状が贈呈されました。



▲寄附金贈呈式の様子
(右:野田クレーン野田代表取締役社長)



▲寄附金贈呈式の様子
(右:ナヴィック杉浦代表取締役)

あたたかい善意

8月26日(水)、末永電気株式会社様より、掛斐川町へ、300万円の寄附をいただき、町長へ目録が贈呈されました。

末永電気株式会社様は、昨年6月に創業70周年を迎えられました。温かいご支援をいただき、誠にありがとうございました。

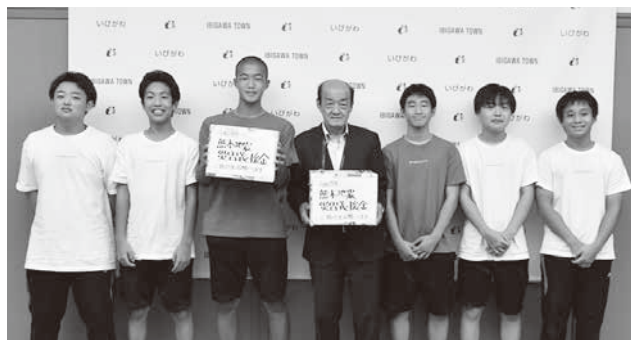


▲目録贈呈式の様子
(右:末永電気株式会社 末永英司代表取締役)

9月18日(金)、ワンオーガニックマルシェいびび 実行委員会様より、令和8年熊本地震災害義援金として総額52,088円をお預りしました。

この義援金は、9月13日(日)に行われたワンオーガニックマルシェいびびで、大和地区の中学生ボランティアが中心となって集めたものです。お預かりした義援金は、日本赤十字社を通じて、被災地に送られます。

被災地に送られます。
ありがとうございました。



▲ワンオーガニックマルシェいびび から大和地区の北和中学校生徒 (左から、細野 愛瑠さん、ほその 愛瑠さん、たけなか 琉偉さん、井口 惺太さん、おぐら 成翔さん、まつおか 暖生さん、栗田 忠さん)

8月25日(火)、掛斐建設業協力会様より、令和8年熊本地震災害義援金として10万円をお預りしました。お預かりした義援金は、日本赤十字社を通じて、被災地に送られます。

ありがとうございました。

公民館活動

☆掛斐公民館

◆日時 11月7日(土)
14時~15時

◆場所 掛斐公民館

◆《ソフトバレーボール大会》

◆日時 11月15日(日)
9時~12時

◆場所 谷汲体育館

◆《ノルディックウォーキング》

◆日時 11月29日(日)
9時~12時30分

◆場所 掛斐公民館 スタート

◆掛斐公民館
TEL 23-1288

☆北方公民館

◆《三代目グラウンドゴルフ大会》

◆日時 11月22日(土) 9時~

◆場所 森前 北和グラウンド

※雨天中止

◆北方公民館
TEL 23-1385

☆春日公民館

◆《春日の歴史と自然を訪ねておよび

◆秋季ノルディックウォーキング教室》

◆日時 11月15日(土)
9時~12時30分

◆場所 森の文化博物館

※雨天中止

◆春日公民館

TEL 57-2239

スポーツ優秀者激励会
大会に出場される方の激励会が開催されました。



◆令和8年度全国中学校体育大会 第57回全国中学校ソフトテニス大会 出場
結ソフトテニスクラブ所属
成瀬 陽向さん(北和中学校1年)



◆第80回国民スポーツ大会 カヌー競技「カヌーワイルドウォーター」 出場
八百津高等学校
高田 夏逢さん(1年)



◆第61回全国高等専門学校体育大会 第53回全国高等専門学校体育大会野球競技 出場
岐阜工業高等専門学校 硬式野球部
若原 渉斗さん(3年)



◆エアトリ杯第26回全日本少年少女空手道選手権大会 小学6年女子形 第3位
拳和会拳真館 所属
柿木 美穂さん(北方小学校6年)



◆令和8年度第34回全国中学生空手道選手権大会 男子団体形 第3位
拳和会拳真館 所属
伊藤 総志さん(揖斐川中学校3年)
小森 一毅さん(揖斐川中学校3年)
竹中 維吹さん(揖斐川中学校1年)

大会に出場された方の報告が掲載されました。

スポーツ優秀者結果報告会



◆第88回全日本ベテランテニス選手権'26 出場
大野テニスクラブ 所属
竹内 文恵さん



◆第80回国民スポーツ大会 カヌー競技 スプリント 優勝、1500m 第5位
八百津高等学校
高田 夏逢さん(1年)

揖斐川歴史民俗資料館 11月3日は「岐阜くふるさとを学ぶ日」です

11月3日(火・祝)の「文化の日」は「岐阜くふるさとを学ぶ日」です。左記の文化施設では無料で観覧することができます。この機会に揖斐川町の歴史や文化に親しんでみませんか。

【対象施設】

- ・揖斐川歴史民俗資料館 (上南方901-15)
- ・徳山民俗資料収蔵庫 (東横山183-1)

特別企画展「戦国武将 稲葉一鉄」好評開催中

当館では11月29日(日)まで戦国武将である稲葉一鉄について、その生涯を辿り関連する資料やゆかりの地について

て紹介しています。
お誘いあわせの上、ぜひご来館ください。

特別企画展講演会のお知らせ

- 会場 当館 第1展示室
- 入場料 高校生以上110円
小中学生50円
- 開館時間 9時～17時
- 休館日 毎週月曜日・11月4日(水)・11月24日(火)

- 日時 11月1日(日)14時～
- 場所 当館 研修棟
- 講師 杉山 秀峰 氏

- 演題 「戦国武将 稲葉一鉄」 (月桂院住職)
- 参加費 無料(別途入館料)
- 定員 50名
- 要予約(定員になり次第締切)

- 日時 11月15日(日)14時～
- 場所 当館 研修棟
- 講師 児玉 剛 氏

- 演題 「西美濃の戦国武将 稲葉一鉄」 (元岐阜県史編纂室・大垣市史編纂室員)
- 参加費 無料(別途入館料)
- 定員 50名
- 要予約(定員になり次第締切)

TEL 22-15373
揖斐川歴史民俗資料館

ぴっころ

～子育て支援センターには楽しいことがいっぱい～



※揖斐川子育て支援センターは、子育て中のお父さん、お母さん、妊婦さん、おじいさん、おばあさんどなたでも利用できる場所です。気軽にお出かけください。

- ◇通信ぴっころを中旬に発行しています。
図書館・公民館・保健センター・役場・振興事務所などに置いてあります。
- ◇ホームページ
揖斐川町 <https://www.town.ibigawa.lg.jp>
揖斐幼稚園 <https://www.ibi-youchien.ed.jp>

揖斐川子育て支援センター

揖斐川町上南方 193 TEL 23-1136
開館日 月曜日～金曜日・第3土曜日
9:00～12:00
13:00～16:00

◎町内の幼稚園 なかよしタイム
毎月第2水曜日
時間: 10:00～11:00 (園庭開放)
※雨天の場合は中止とさせていただきます。

◎揖斐幼稚園の開放日
11月18日(水)
直接幼稚園へお申込みください。
TEL 22-6008 (当日可)

11月の活動予定 行事の申込みは、前月第3水曜日より実施日前日まで受付けています。(電話予約不可)

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 文化の日	4 親子体操 揖斐高生徒との交流	5 年齢別交流 (りんごグループ)	6 年齢別交流 (いちごグループ)	7
8	9	10	11 出前保育 (北方公民館)	12	13 年齢別交流 (さくらんぼグループ)	14
15	16 年齢別交流 (ひよこグループ)	17 リフレッシュ体操	18	19 リコーダー演奏会 誕生会	20	21 開館日
22	23 勤労感謝の日	24 ハローワーク大垣 マザーズコーナー 巡回相談	25 教えてドクター	26 ベビーマッサージ	27	28
29	30 発育測定					

11月の年齢別交流

同じ年に生まれたお子さんと親さんの交流の時間です

- りんごグループ (2023.4.2生～2024.4.1生)
- いちごグループ (2024.4.2生～2025.4.1生)
- さくらんぼグループ (2025.4.2生～2026.4.1生)
- ひよこグループ (2026.4.2生～)



「秋みつけにでかけよう」

子育て支援センターは、子ども(0～18歳未満)に関するあらゆる相談窓口です。
一人で悩まないで気軽にご相談ください。

- ◎育児相談は毎日、子育て支援センターで直接受け付けています。
- ◎行事など変更、中止になる場合がありますので、事前にお問い合わせください。

揖斐川町は、住民の皆さんの子育てを応援しています。 ～子育て支援センターの紹介～

ベビーマッサージを行いました♪

子育て支援センターでは、親子の触れ合いを大切にする「ベビーマッサージ」を年2回開催しています。お母さんたちは、講師の先生のお話を聞きながら、お子さんの手や足、お腹などオイルを使って優しくマッサージしました。「気持ちいいね」と声をかけたり、目を合わせたりしながら親子でゆったりとした時間を過ごしました。お子さんも、大好きなお母さんに優しく触れてもらい、気持ちよさそうな表情を見せたり、笑顔になったりする姿が見られました。

ベビーマッサージは、赤ちゃんの体に触れながら親子で目を合わせたり、声をかけたりして安心感を育むことにもつながります。

11月に2回目を計画しています。ぜひご参加ください。



いきいき園キッズ！ ～やまと・きたがた幼稚園～

毎日異年齢で朝の自由遊びを楽しんでいます。『美容院』では、スズランテープで作った三つ編みを髪の毛に付けたり、廃材で作ったメイク道具でおしゃれを楽しんでいます。また、年長児が中心で始まった『アイドルごっこ』は、女の子だけでなく、男の子も一緒にアイドルになりきり、推し活うちわを作って応援したりと毎日賑わっています。食べ物コーナーでは、作ったお金で買い物をするやりとりから、手作り携帯を使って電子マネーでお金を支払うことを楽しむ子も出てきました。また、お菓子の袋を切り取って作るシール帳も人気です。

日々の生活の中で経験したことを遊びに取り入れ、自分なりに考えたり工夫したりする姿を受け止め、これからも興味や関心を広げていけるような関わりを工夫していきたいと思います。

美容院で
かわいくして
もらったよ♡



ちびっこわくわくショー



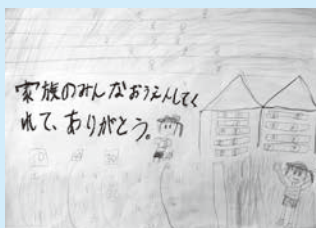
お金ですか？
電子マネーですか？



どんな絵のシールを
作ろうかな？



シール帳作り



毎月第3日曜日は家庭の日 ー心のつながりを深めようー

揖斐川町青少年育成町民会議

共に未来を創る！
揖斐川中の「いび創(そう)」な挑戦
揖斐川町立揖斐川中学校

揖斐川中学校では、今年度から学校教育目標を「共に自立をめざす」に刷新し、日々教育活動に取り組んでいます。激しく変化する社会の中で、子どもたちがよりよく生き抜いていくために、「自立への一歩」を仲間、教師、家庭そして地域と共に育む学校にしたい。この目標には、そんな強い思いが込められています。

本校では「難しい壁にぶつかったときにもあきらめずに粘り強く考え、仲間と共に行動できる人になってほしい」そんな願いを込めて、授業の中に子どもたちが自ら問いを見つけて解決していく「探究的な学び」を取り入れています。

その中心となるのが、総合的な学習の時間、「いび未来創造科」通称「いび創(いびそう)」です。「地域の一員として、揖斐川町の未来を自分たちの手で創っていき

きたい！」という思いを込めて、昨年度の3年生が提案し、全校投票で決まった名前です。今年度は、さらに地域とのつ

ながりを深めながら活動を進めています。町に暮らす一人一人として「自分に何ができるだろう？」を考え、試行錯誤しながら実践する姿こそが、子どもたちの確かな学びにつながっています。



昨年度は、2年生の職場体験学習をきっかけに、「お世話になった事業所の方々のために、自分たちにできることはないか」と知恵を絞り、実際にプロジェクトを形にしました。仲間とぶつかり合い、よりよい方法を何度も話し合いながら実践した経験は、生徒たちを大きく成長させてくれました。そして今年度も「いび創」が本格的に動き出しています。

- ◆1年生は「揖斐川町の魅力を多くの人に伝える活動」
- ◆2年生は「町で働く方々と一緒に課題を解決するプロジェクト」
- ◆3年生は「これからの揖斐川町の未来を描く活動」

すぐに答えが出ない問いに対して、汗をかきながら粘り強く挑む子どもたち。地域の温かい見守りと支えをいただきながら、私たち教職員も子どもたちと一緒に一歩一歩歩んでまいります。

【追伸】本校では生徒たちと共に町の未来を熱く考えようとされる皆さんを募集しています。興味のある方は、ご連絡をお待ちしております。

「好きを育み、得意を伸ばす」場の提供
揖斐川町立北和中学校

学校運営協議会制度がスタートし、昨年度は、どんな子どもを育てるのかという目標を地域と学校とで共有しました。しかし、本校の学校運営協議会は、広範囲で構成されることなどから、今年度は助走期間と捉え、やってみただけからこそ生まれる課題を修正し、来年度に備えることとしました。実情に合わせて、無理なく持続可能な範囲で実践できる動きを次のとおり設定しました。地域の皆さまにも今後の方向性について、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

1 「地域」と「学校」の共通目標

「どんな子どもを育てたいか？」
「どんな地域で暮らしたいか？」

- ◆地域に関心をもち、積極的に地域行事に参加する子ども
- ◆先輩を尊敬し、後輩をいたわり、家族を大切に思う思いやりのある子ども
- ◆目標をもち、リーダー性をもって主体的に動く子ども
- ◆学校でも地域でも、顔を見たら挨拶ができる子ども
- ◆自分のことばかりではなく、相手を気遣い、規則を守る子ども

2 「地域とともに動く」中学生を目指す



挑戦したいことは、「地域生徒会」の発足です。校区内にある5つの公民館活動を盛り上げるため、大和・北方・久瀬・藤橋・坂内のそれぞれで「地域生徒会」を立ち上げます。

公民館からのボランティアに受け身で参加するのではなく、「こんなことをしてみたい！」といった地域を盛り上げるためのアイデアを地域生徒会メンバーで練り合い、各公民館の活動推進委員さんと連携しながら中学生にできることを実現していくという動きを目指しています。



活動後には、活動の様子や気付きを校内外に紹介し、自分たちの地域を誇りに思い、地域に貢献できる機会を創り出したいと考えており、中学校と地域との強いつながりを生み出していくことに挑戦していく所存です。温かい応援をよろしくお願ひします。



みんなで考えよう! これからの学校教育の在り方。

「学校教育の在り方審議会・シンポジウムinいびがわ」(2) 「まちの未来をひらく子どもたちが育つ学校をみんなで創る」

今号では、シンポジウム(8月22日)に参加された皆さんからのご意見を紹介します。寄せていただいたさまざまな考え方を今後の審議に活かしていきます。

・小中学校の統合は、子どもたちの人数を考えると必要かなと思います。中でも、地域の人の関わりを置き去りにしてはいけなし、より強くしていく必要があると思います。また、一人一人の心を育てていくことが一番大切だと思うので、どんな人でも受け入れてくれる学校をつくることが大切だと思いました。子どもたちが将来、都会へ行っても、心の中には揖斐川町のことを忘れずにいてくれるといいです。

(50代女性・揖斐小学校区)

・小中学校時代を思い返してみると、総合的な学習の時間に薬草や毒草を調べたことがあります。私たち自身で調べたいと言って、自発的にできたことがうれしくて、楽しかったことをよく覚えています。また、(小中併設のため)中学校では、必ず誰かが役員をやらなければいけない状況でしたが、責任感が身に付き、小1から中3までが分かるように工夫することの大切さも学びました。同級生は6人でしたが、一人一人が役

割を担って行動したことで、けんかはもちろんありましたが、少人数だからといってできないことはあまりなかったように思います。

(30代女性・大和小校区)

・色々な学校の見学をされてきた報告を聞く事ができてよかったです。それらの良い点、デメリットもよく考えて新しい学校の在り方が生まれそうなの希望が見えました。住民として手伝えることがあれば手伝いたいです。

(70代女性・北方小学校区)

・基調講話の中で次期学習指導要領の方向性、キーワードが「好きを育み得意を伸ばす」とのこと。とても分かりやすく、そのあとに説明いただいた改革とも結び付き、よく理解できました。揖斐川町の地域性を活かすとともに、デジタル化に対応する教育につながるとういと思っています。幼児園と義務教育学校、更には高等学校を巻き込んだ取組ができればと考えます。

(70代男性・清水小学校区)

・文部科学省の考えや現状、今後の課題が端的に分かり、小中学校だけの問題ではなく、今後、子どもをどう育てていくか、どんな力が必要なのかとあらためて考えさせられ、その

ヒントももらえた
と思いました。

また、シンポジウムの内容も短い時間ながらも濃い内容だったと思うし、会場の方たちの切実な思いや意見も聞けて、重大な方向転換、決定が求められているのだから、限られた時間の中でもしっかりと考えていかなければいけないと、重く感じる事が出来ました。参加してよかったです。ありがとうございました。

(50代女性・小島小学校区)



・高校生が発言できる機会があり、とてもよいと思いました。「非認知能力」の中には、人間関係づくり、コミュニケーション力等もあると思います。学校づくりの土台は、「非認知能力」になると思います。つまり、学級経営の充実だと考えています。その土台の上に学力の向上、探究活動があると思います。義務教育学校では、異学年による活動づくり、交流の幅を広げることが出来ます。特に「多様性の包摂」につながるものと思います。学校統合に向けての壁は多くありますが、子どもファーストで考えて、スムーズな統合ができたらと思います。新しい学校が人口増につながるとういと思っています。

(60代男性・谷汲小学校区)

・揖斐川町の学校教育を現場だけに任せるのではなく、町民一人一人が考え、アイデアを出して、よりよい方向にしていけることはとても重要なことだと感じました。今後も揖斐川町の学校教育をみんなで考えるシンポジウムはとても重要なことです。よってこのような活動を継続していただけるとありがたいです。

(70代男性・養基小学校区)

・「探究いびがわ」、多文化分教室、「学び舎IBIGAWA」、夜間中学等、かなり具体的なイメージがなされていることに驚きました。他地区の合併や義務教育学校化等の考え方とは一線を画している感じがして楽しみに思う反面、学校教育の分野だけではない町としての冷静な見極めや判断も大切になってくると感じました。

(50代男性・町外)

・未来について考えることは、不安なところももちろんありますが、夢を語る、希望をもてるワクワクすることだと思っています。子どもたちの考え、高校生、大学生の考え、10代、30代、40代、50代、60代、70代それぞれの考えを踏まえ、合意形成を図ってきたいものです。

(50代男性・町外)

(学校教育の在り方審議会HP)



～新着図書紹介～

一般書

●宇野千代女の一生

宇野 千代ほか著、藤江 淳子ほか著、小林 庸浩ほか著

98年の生涯を颯爽と駆け抜けた恋多きひと…。作家・宇野千代の各時代のお洒落なポートレートから、自らデザインした着物、身の回りの品々まで、貴重写真が満載。秘書の回想記、宇野千代自慢の料理を再現したレシピも収録。

●春までのセンセイ

早見 和真著

私立稜花女学院中学校3年E組の担任は中年の国語教師。最初は芽えんないと思っていたのに、先生の言葉はなぜだか心に響いてくる。だが夏休み直前、先生は病気で学校を辞めるというウワサが流れ…。『小説推理』連載を単行本化。

●画像・動画生成AIスタートガイド

AICU media編集部著、白井 暁彦著、道草 雑草子著

生成AIを使ってオリジナルキャラクターをカタチにし、動きを与えるテクニックが身につくハンズオン形式の入門書。AIの仕組みや、法律、チーム運用なども解説する。特典データをダウンロードできる二次元コード付き。

絵本・児童書

●5秒で見破れ！全員ウソつき

田中 智章文、ビブオ絵、植松 峰幸監修

少年シンとカラスのクロが迷い込んだハロウィン島の島民は、全員ウソつきで…。数や言葉、トリックを利用したウソを見破り、真実に辿りつけ！物語や島民のセリフを楽しみながら、真実を見抜く力をきたえられる本。

●パンどろぼうとさすらいラーメン

柴田 ケイコ作

とっても寒い“ぶるぶるじま”にやってきたパンどろぼう。できたてのパンをふるまおうとパン作りをはじめますが、窯が壊れてしまいました。困っているところへさっそうと現れたのは…。『パンどろぼう』シリーズ第8弾。

●働く現場をみてみよう！ロボットにかかわる仕事

パーソルホールディングス株式会社“はたらく”を考えるワークショップ推進チーム監修

ライドロボット設計者、屋内配送ロボット開発者、寿司ロボット製造者…。ロボットにかかわる仕事をとりあげ、勤務内容や、その仕事に就く方法などを紹介する。実際に働いている人へのQ & Aも掲載。

「たっぷりおはなし会」と「科学実験ライブ」in はなもも

- ▶日時 12月12日(土) 10:00～12:00
- ▶場所 地域交流センターはなもも
- ▶内容 【おはなし会】
10:00～11:00 はなもも1階 和室
おはなしボランティア4団体による読み聞かせや人形劇などです。

- 【科学実験ライブ】
11:10～12:00 はなもも1階 多目的室1
瑞浪市にあるサイエンスワールドの講師による科学実験ショーです。

いびがわ図書館 冬のイベントです。お楽しみに！

蔵書点検等による休館のお知らせ

期間：11月4日(水)～11月13日(金)

年に一度の蔵書点検のため、上記の日程で町立図書館2館は休館します。
ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますよう、お願い申し上げます。

～11月の行事・休館日～

おはなし会

【いびがわ図書館】

- ▶日時 11月21日(土) 10:30～ おはなし たまご
- 11月28日(土) 10:30～ おはなしポケットいび

【大人のためのおはなし会】

- ▶日時 11月19日(木) 10:00～ おはなしポケットいび

KAPLA 検定にちょうせん！

きめられた作品を作って、9級から2段までの検定にちょうせんしよう！

- ▶日時 11月14日(土) 13:00～

揖斐川町立図書館(いびがわ・谷汲図書館)

代表連絡先：いびがわ図書館(揖斐川町上南方 27-9)

電話：22-0219 ファックス：22-0999

E-mail: tosho@town.ibigawa.lg.jp

休館日：毎週月曜日

祝日の翌日等(11月24日)、
蔵書点検とマラソンによる臨時休館日
(11月4日～13日)

いびがわ、谷汲図書館で所蔵している本は
2館のどちらでも借りることができます。

令和8年度「8020よい歯の高齢者表彰」 受賞おめでとうございます！

西濃口腔保健協議会では、80歳以上で自分の歯が20本以上ある方を表彰する「8020運動」を行っております。揖斐川町では32人の方が受賞されました。

表彰された皆さんは次のとおりです。【順不同・敬称略】

いしはら 史洋 (清水)	いとう のりつぐ 伊藤 法継 (胄永)	かわせ しげよし 河瀬 成良 (小島)	こうだ たかし 香田 隆 (北方)
こもり てつろう 小森 徹郎 (大和)	しみず よしずみ 清水 善澄 (大和)	たかはし たかお 高橋 孝雄 (北方)	たけなか じゅんじ 竹中 淳二 (揖斐)
ついき まさじ 立木 正司 (小島)	ないとう けいし 内藤 敬司 (春日)	ないとう よしたか 内藤 良孝 (小島)	はせがわ ひろし 長谷川 洋 (谷汲)
ふじはら おさみ 藤原 修身 (春日)	ほその てつひで 細野 哲秀 (揖斐)	よしのぶ 義久 (大和)	あわの ふみこ 栗野 文子 (小島)
いぶか ともこ 井深 智子 (胄永)	おかべ せつこ 岡部 清都子 (谷汲)	くぼた きみこ 窪田 貴美子 (小島)	こたに ふさよ 小谷 房代 (大和)
こでら よしえ 小寺 好江 (清水)	すぎやま としこ 杉山 時子 (谷汲)	たきせ あやの 瀧瀬 綾乃 (谷汲)	てらだ えみこ 寺田 恵美子 (谷汲)
ふじはら ふじこ 藤原 藤子 (春日)	ますだ てる 増田 照 (小島)	やわた きくこ 八幡 紀久子 (揖斐)	わかばら かよこ 若原 香代子 (揖斐)
わたなべ うめこ 渡邊 ウメ子 (北方)			他3名

自分の歯で食べることができると、どんなものでもおいしく食べることができ、全身の健康状態も良くなります。そして認知症予防につながり、心も体も元気に過ごせます。

歯を失う原因の多くは、むし歯と歯周病です。特に歯周病は自覚症状のないまま進み、40歳代から歯を失う比率が急に高くなります。また歯周病は、全身のさまざまな病気の要因となります。

歯の健康・体の健康のために、定期的な歯科健診でプロのケアを受け、毎日の歯みがきを行うことで、皆さんも「6024 (60歳で24本)」「8020 (80歳で20本)」を目指してみませんか？

《ぎふさわやか口腔健診》実施中です！

対象者：75歳以上の方

期間：令和9年1月31日まで

持ち物：300円、マイナンバーカードまたは資格確認書

※口腔健診受診の際は、指定医療機関に予約してください。

問 住民生活課 Tel 22-2786・揖斐川保健センター Tel 23-1511

お子さんおよび妊婦の方に対し、インフルエンザの予防接種費用を助成します！

毎年、秋から冬にかけてインフルエンザが流行します。インフルエンザの発症予防と経済的負担を軽減するため、お子さんと妊娠中の方のインフルエンザ予防接種にかかる費用の一部助成を行います。

【費用助成の対象となる期間】 令和9年3月31日まで

【申請期限】 令和9年3月31日

【対象者】 接種当日時点で ・妊娠中の方 ・生後6か月から高校3年生相当の年齢の方

【助成額】 1人1回限り上限2,000円

【必要書類】 領収書、接種済証明書または母子健康手帳、口座の分かるもの等

申請書は、保健センターにあります。ホームページからもダウンロードすることができます。

議会だより

第4回揖斐川町議会 定例会

令和8年第4回揖斐川町議会定例会が、9月4日から11日までの8日間の会期で開催されました。

初日には、町長から承認案件1件、報告案件3件、条例案件3件、予算案件5件、決算案件15件など合計34議案が提出され、提案説明が行われました。続いて、天羽茂喜監査委員から令和7年度各会計決算等に係る監査報告が行われました。

34議案のうち6議案が可決・同意され、残りの議案の審査は各委員会に付託されました。

7日には、令和7年度の15会計の決算について、決算特別委員会で審査されました。

8日には、総務文教・民生建設の各常任委員会が開催され、それぞれ付託された議案の審査が行われました。

10日の本会議では、3名の議員が一般質問を行いました。

11日の定例会最終日には、付託された議案の審査結果について各委員長から報告がされ、採決の結果すべての議案が原案のとおり可決されました。

本定例会に提出された案件の主な内容、一般質問および答弁の要旨は次のとおりです。

条例案件

○揖斐川町認可地縁団体の印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

○揖斐川町監査委員条例の一部を改正する条例

○揖斐川町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

関係法令の改正に伴い条例が改正されました。

予算案件

○令和8年度揖斐川町一般会計補正予算

ぎふ木遊館サテライト施設整備事業や林道施設災害復旧工事など、総額で2億1,130万円が増額されました。

○令和8年度揖斐川町国民健康保険特別会計補正予算

過年度における保険給付費等交付金返還金等、総額で1,563万6千円が増額されました。

○令和8年度揖斐川町後期高齢者医療特別会計補正予算

システムの標準化による規格変更に伴い、封筒印刷代等25万2千円が増額されました。

○令和8年度揖斐川町水道事業会計補正予算

大和簡易水道の大和水源地1号送

水ポンプおよび市場簡易水道の市場配水池水位計の修繕費用として1,641万4千円が増額されました。

○令和8年度揖斐川町下水道事業会計補正予算

城山団地浄化槽の修繕、各種ポンプ・水位計の更新費用として、2,835万7千円が増額されました。

決算案件

○令和7年度一般会計、12の特別会計および水道事業会計、下水道事業会計の決算認定
15会計の決算が認定されました。

その他の案件

○人権擁護委員の推薦

次の方を推薦することに同意されました。

・小谷 和彦さん(北方)※再任
・宗宮 正典さん(房島)※新任

○指定管理施設の指定期間の変更

揖斐川町月夜谷ふれあいの里総合利用施設
指定期間…
(変更前)令和5年4月1日～
(令和10年3月31日まで)
(変更後)令和5年4月1日～
(令和9年3月31日)

○財産の処分(譲渡)

「西若松複合集会施設」を認可地

縁団体「西若松自治会」に無償で譲渡することが決定しました。

○工事請負契約の締結

胥永水源地電気計装設備更新工事
契約金額…146,300,000円
契約の相手方…末永電気株式会社

○物品購入契約の締結

塵芥収集用2トントラック購入業務
契約金額…8,362,200円
契約の相手方…いび川農業協同組合

○物品購入契約の締結

揖斐川町防災備蓄食糧支援業務
契約金額…15,107,820円
契約の相手方…アンシンク株式会社
大垣店

○揖斐川町過疎地域持続的発展計画の変更

事業の追加と文言が変更されました。

承認案件

専決処分された次の1件が議会で承認されました。

○令和8年度揖斐川町一般会計補正予算

報告案件

次の3件が議会で報告されました。

○専決処分事項の報告（町道上における事故の損害賠償額の決定及び和解について）

○令和7年度揖斐川町財政健全化判断比率の報告

○令和7年度揖斐川町公営企業資金不足比率の報告

決算特別委員会

本会議で決算特別委員会に付託された15議案について、9月7日に委員会を開催し、審査を行いました。
主な質疑は以下のとおりです。

○令和7年度揖斐川町一般会計決算

Q 昨年、谷汲観光駐車場の利用料を値上げした結果は。

A 昨年10月から100円値上げした。前年度に比べ利用台数は減ったが、収入は約211万円の増となった。

Q 町税の滞納繰越、不能欠損となる理由と徴収するための対策は。

A 滞納となる理由は、財産・収入がない、納税を優先しない、生活困窮、行方不明、相続人が特定できないなど。法人では、清算中、あるいは清算しないまま行方不明となったものなどがある。

徴収対策としては、コンビニ納税に加え、スマートフォン決済にも対応し、24時間納税ができる環境を整えている。

滞納整理については、督促状の送付、電話などによる催告、臨戸訪問、納税相談等を実施。これらの対策に

より納付いただけない場合は、法律に基づき債権の差し押さえ等、滞納処分を実施している。

Q ふるさと寄附金が増えているが、人気のある返礼品は。

A 上位から、CO₂フリー電気、はつしも、いびがわマラソン出走権、ハムソーセージセットが人気。

Q 中高生の海外派遣事業について、物価高騰等により状況は厳しいと思うが1人当たりの費用は。また、今後事業の見直しを行う予定は。

A 1人当たり約60万円。今年度、派遣人数を4名減とし、日程も1日短縮した。

常任委員会

本会議で総務文教常任委員会、民生建設常任委員会に付託された議案について、9月8日に委員会を開催し、審査を行いました。
主な質疑は以下のとおりです。

○令和8年度揖斐川町一般会計補正予算

Q 新築住宅建設等奨励金および住宅改修奨励金、小さな一歩応援事業補助金が増額補正されているが申請件数は。

A 令和7年度は、新築住宅で17件の申請があった。
今年度は、中古住宅を中心に20件

程度を見込んでいる。また、住宅改修については、例年同様に50件程度を見込んでいる。

小さな一歩応援補助事業は、現在交付決定済みの3件と今後申請予定が2件、合計5件を見込んでいる。

Q 5基購入予定のクマ捕獲用オリは、設置場所が決まっているのか。

A 各振興事務所に1基ずつ配備予定。

既存の2基は、揖斐川管内（大和地内、北方地内）に設置済みである。

Q 現在、三倉上ヶ流線が土砂崩落のため通行不能とのことであるが工事完了見込みは。

A 12月末までの工期で工事を進めているが、降雨や降雪などの影響により工事を延期する可能性もある。

ここが聞きたい一般質問

議員3名が町政を問う

本定例会の一般質問の要旨をお知らせします。

質問の全文は
こちらから
ご覧ください。



※公式の会議録ではありません。

國枝 誠樹 議員

県立揖斐高等学校の魅力化について

岐阜県は2040年までに中学卒

業者が現在の約6割に減少すると推計し、県立高校の適正規模・適正配置については今後3年で方針を定めるとしている。

近年、揖斐高校も定員割れが顕著で、令和8年度入学者選抜では、定員120人に対し出願者は74人であった。

県は今後、高校再編を考える上で、学校の規模だけではなく、その地域に高校がある意味なども重要であるとの考えを示している。

全国では、地域全体を学びの場として地域課題の解決や社会実装まで行う高校や、自治体が高校魅力化コーディネーターを配置し、学校と地域が一体となり県外からも生徒を集めている高校もある。

私は、揖斐川町にもその可能性が十分にあると考える。例えば、揖斐川町が持つお茶、薬草、森林、環境、福祉・医療など地域資源や地域課題を組み合わせた、「揖斐川町そのものを教室にする高校」を実現することで、生徒や保護者から選ばれる高校へと変えていくことができるのではないかと考える。

町長に4点聞きたい。

① 町は揖斐高校をどのように位置付けているか。

また、揖斐高校の将来について県や学校と協議していく必要があると考えるが町の考えは。

② 揖斐高校の魅力化・地域人材育成のためのプロジェクトを立ち上げ、継続的に協議する場を設けてはどうか。また、学校と地域、企業、大学等をつ

なぐ「高校魅力化コーディネーター」のような人材を配置してはどうか。

③ 町の地域資源や地域課題を高校教育につなげ、「揖斐川町でしかできない高校教育」を構築していく考えは。

④ 生徒を増やすために養老鉄道を利用して通学する生徒への支援、空き家等を活用した下宿や地域寮などについても考えていくことも必要ではないか。

また、県が高校再編を検討する上で「その地域に高校がある意味」が重要であるというならば、できる限りそれを数字で示す必要もあるのではないか。

町長

① 揖斐高校は県立学校であり、施設整備や学校予算、教員の配置や教育課程の編成等について町が関与できるものではないが、特産品開発や産業人材育成、公共交通存続など、町の発展に欠かせない重要な地域拠点・資源であると認識している。

町としては、平成28年の「揖斐川町と揖斐高校との連携協定」に基づき積極的な支援を続けてきた。中学生海外研修派遣事業への揖斐高生の参加拡大、デュアル実習の拡充、商工・観光・福祉・医療・教育分野での学びの支援など、町内施設を提供しており、これら揖斐高校の教育活動の充実に、町をあげて取り組んできたことは県内でも高い評価を得ている。

重要なのは「揖斐高校をどう残すか」ではなく、「これからの時代に、どのような人材を育てる学校なのか」そし

て、「なぜ、その教育を揖斐川町で行う必要があるのか」を明確にすること。人口減少地域だからこそ、地域産業や自然、文化、福祉、医療を教材として実践的に学ぶことができる。「揖斐川町だからこそ学ぶ意味がある」という関係をつくることが重要である。

そのためには、県が学校の位置付けを明示し、学校は教育内容を磨き、生徒が主体的に関わり、PTA・同窓会・企業・地域、揖斐高校に関わるすべての皆さんがそれぞれの立場で真剣にこの問題に向き合っていくことを強く期待し、町としてできることをしっかりと取り組んでいく。

県が3年を目途に高校の適正配置を検討する中、単に「揖斐高校を残す」のではなく、「揖斐高校が地域の未来をつくる学校になる」、このことが今後の揖斐高校の魅力化を考える上で最も重要な視点であると考えている。

教育長

② 「学校運営協議会」や県教育委員会も参加する「連携型中高一貫教育連絡協議会」など既設の組織を活かし、揖斐高校の教育活動の改善に協働して取り組んでいきたいと考えている。

また、「地域に根差した人材育成」を具現するため、例えば連携型選抜の方法を見直すことなど揖斐高校と一緒に検討したいと考えている。さらに、高校教育課程に理解があり、地域住民や地元企業との橋渡し役となる人材配置も検討していきたい。

③ 「学校教育の在り方審議会」において、揖斐高校の専門性を小・中学校に活かすこと、小中高12年間の連携教育を、といった意見も出ており、町全体の教育環境づくりに活かしていきたいと考えている。

そうした中、各学校の「ふるさと学習」や地域活動の充実等により、今年度全国調査では「地域をよくするため何かしたい」と答えた中学3年生が全国平均を14ポイントも上回る86・2%となり、地域に根差した人材育成が図られつつあると評価している。

④ 揖斐高生が町内で学び、地域行事に参加する様子から、生徒の誠実さや心の優しさが育まれていることがわかる。数値では測ることができないこうした生徒の育ちにも、揖斐高校がこの地域にあることの意味がある。

今後、「地域に愛される揖斐高校」と「揖斐高校を愛する地域」の両面から新たな魅力創出に取り組み、地域の皆さんが教育活動に参画いただけるよう啓発を続けていきたいと考えている。

衣斐 良治 議員

人口減少時代における「揖斐川町の未来戦略」について

揖斐川町の人口は、2025年国勢調査の速報値で17,295人。年齢別の人口構成いわゆる人口ピラミッドは「つば型」から「逆富士山型」となり、高齢化、生産年齢人口の減少がさ

らに進むとされている。特に深刻なのが出生数で、令和2年の92人にに対し、令和7年度は48人とこの5年半でほぼ半減している。

人口の総数だけを見るのではなく、どの世代がこの町で暮らし、地域を担っていくのかという「人口構造」の問題として捉える必要があり、企業誘致による雇用の場の確保などに加え、特に若者や子育て世代、女性から「このまちで暮らしたい」「このまちで子育てしたい」「このまちで挑戦したい」と選ばれるまちづくりと、ウェルビーイング(生活の質)を高めることが最重要である。

町長に4点聞きたい。

- ① まちづくりの基本的な考え方(理念、価値観、政策の判断基準など)について
- ② 今後3年間、町長として最優先に取り組む3つの重点施策について
- ③ 3つの重点施策の実現方法(3年後の成果、到達点など)について
- ④ 行政の経営資源(人材、財源など)には限りがある。今後どうやって協働・共創のまちづくりを進めていくのか。

町長

① 揖斐川町の人口減少、特に出生数の大幅な減少は、地域社会の担い手、学校、産業、町の持続可能性に関わる重大な課題である。令和2年から令和7年度にかけ出生数が半減したという事実は、第2次総合計画における施策の重要な検証ポイントとなる。

これまで給食費・保育料の無償化、修学旅行費支援など、年間1億円近い予算を投入してきたが、これらは「子育て支援策」として重要ではあるが「少子化対策」ではない。子供が生まれる前の段階から様々支えるという視点が少子化対策の根幹である。

② 第一に、若者が町に残り、戻ってくるための就業環境、住宅環境、出会いや交流の機会づくり、結婚・妊娠・出産を隙間なく支える支援が考えられる。現在、結婚新生活支援事業、定住促進奨励事業、不妊治療の自己負担補助を実施しており、今後はプレコンセプションケアなども検討していきたい。

第二に、人口減少時代に対応した「賢く縮む(スマートシユリンク)」生活基盤の再構築。公共交通、医療、福祉などを地域特性に応じて、デマンド型交通や移動診療車など様々な手法で提供し、若い世代が「ここで暮らしても大丈夫」と思える町をつくる。

第三に、地域の人、企業、団体をつなぎ、地域力と稼ぐ力を高めること。薬草などの地域資源を所得や仕事につなげ、経済基盤を確立すること、交通基盤の確保が重要であり今後一層推進していくことが必要である。

③ 今後の具体的な事業については、第3次総合計画に基づく実施計画や、毎年度の予算編成の中で、必要性、効果、財源、実施体制などを踏まえて判断していく。

④ 地域によって課題や活動形態が異なり、全ての地域に同じ組織をつくるのではなく、「必要なときに、必要な

人や団体がつながること」が重要であると考ええる。

これからの地域づくりは、「できる人が、できる時に、できることをする」という多様な関わり方を認め、行政主導でも、特定の個人や団体だけに依存するのでもない持続可能な地域づくりを目指す。

岸 啓司 議員

「共創と協働」による町づくりを推進させるプラットフォームの構築について

第3次総合計画では、「共創と協働のまちづくりの推進」が明確に掲げられている。

しかし、実際には、町の新たな施策やプロジェクトが示される頃には、すでに企画や枠組みが行政側でほぼ完成しているケースが多く、地域や住民が関わる余地が少ないのではないかと感じている。

事業が固まる前の企画や構想の初期段階から、地域住民、地元企業、各種団体などの「地域のプレイヤー」と情報を共有し、対話を重ねる場があれば、住民の主体性や事業の推進力は格段に高まるのではないかと。

総合計画に掲げられた「共創と協働」を真に体现するための仕組みづくりについて、町長に2点聞きたい。

① 政策の初期段階における対話の場づくりについて

政策構想・企画段階から地域の事業

者や団体、住民が関わり、意見を集め議論できるオープンなプラットフォームを設けるということはできるか。

② ふるさと納税返礼品制度をモデルケースとした推進策について

担当部署の限られた人員だけでは限界があるため、「地域資源を共に掘り起こす地域連携の仕組み」が必要になるのではないかと。

先進自治体に共通しているのは、「行政だけで完結させず、地域住民や事業者の『人脈・口コミ・目利き・アイデア』を吸い上げるオープンなシステムをつくった」という点であり、「地域資源発掘窓口」や、「ふるさと納税共創懇談会」のようなプラットフォームを試験的につくってみてはどうか。

町長

① 町政を進める上で、町民の皆さんの声を聞き政策に生かすことは大変重要であり、既に区長会、代表区長会を通じた地域の声の集約、議会での質問や発言による町政への反映など、町民の皆さんの声を届ける仕組みが存在している。

新たに町民の声を直接聞く場を設けるのであれば、現在の区長会や議会の役割との位置付け、役割分担、メンバー選出方法、権限などを明らかにする必要があり、区長から寄せられた意見と懇談会の意見が異なった場合、どちらを地域の声として受け止めるのか、といった点の整理も不可欠である。

町民の意見は年代、地域、職業、生

活環境によって様々であり、「町民の声」として一つにまとめることは難しいもの。新たな仕組みを設ける前に、私を含めて現在の組織が、町民の声を聞くということをより高めていくことが優先されるべきと考える。

現在、町の将来の教育を考える検討委員会では、意識調査や各地区での説明会、シンポジウムなども開催している。また、パブリックコメントという方法も活用しており、政策の性質に応じて、最も適切な方法で意見を伺うことが重要であると考えている。

共創と協働とは、新しい組織や会議を増やすことではなく、自治会、地域団体、事業者、議会、行政など、それぞれが持つ役割や機能を高めながら、必要なところでは連携し、一緒に課題を解決していくことではないかと考えている。既存の仕組みでは十分に把握できない意見がある場合や、特定の政策について、その政策に応じた意見を伺う場や方法を必要に応じて考えていきたい。

最終的には、様々な意見を踏まえ、町政全体を見渡した上で、行政と議会が責任を持って政策を決定し実施することが何より重要である。

② ふるさと納税は、寄附の確保に加え、町の魅力や地域資源を広く発信する取り組みの一つであり、物に限らずサービス型の返礼品も含め、揖斐川町らしい返礼品の充実に努めてきた。

町では、ふるさと納税業務の委託業者とともに事業者を訪問し、返礼品として取り扱うことができる商品やサー

ビスの提案、制度に関する相談を行っており、新たに返礼品として登録されたものもある。しかし、返礼品として登録するためには様々な条件、基準が定められており、町内で生産されたもの、または町内で主要な部分の製造や加工が行われたものに限られる。町内の店で扱う商品であっても製造が町外である場合など基準に該当しない場合は登録できない。

また、返礼品の調達費用、送料、決済手数料など募集費用は、国の定める割合の範囲内に収める必要があり、寄附の申込みに応じて安定的に提供できる供給量や生産体制、発送や問合せへの対応も必要となる。事業者や生産者の皆さんには、通常の営業活動に加えて、国の基準に適合した商品を注文に応じて、確実かつ迅速に発送するなど、相応の手間と責任が生じることとなる。

ふるさと納税において関係者が連携する場を設け、返礼品の開発を進めている自治体があることは承知しているが、返礼品を企画・製作・提供する主体は、あくまで事業者や生産者の皆さんで、新たなプラットフォームや仕組みを設けても、国の基準に適合した商品を安定的に迅速に提供いただける事業者の存在が、ふるさと納税の成否の鍵を握っている。

本町では、新たな仕組みや組織を設けるのではなく、既存のつながりや連携の中で、情報共有や意見交換の在り方を工夫しながら、ふるさと納税返礼品に適合した商品やサービスの発掘に努めていく。

議会活動報告

7月

2日 第2回土地施設特別委員会

第4回議会改革推進特別委員会

揖斐郡三町議員研修会

17日 7月例会

第3回土地施設特別委員会

第5回議会改革推進特別委員会

8月

19日 郡上市木遊館視察

26日 第8回議会運営委員会

8月例会

第4回土地施設特別委員会

第6回議会改革推進特別委員会

第2回公共交通特別委員会

9月

4日 第4回定例会開会 本会議

7日 決算特別委員会

8日 第3回総務文教常任委員会

第3回民生建設常任委員会

本会議 一般質問

10日 本会議 第4回定例会閉会

11日 第5回土地施設特別委員会



揖斐川町スポーツ推進委員会主催事業

ミニスポレク体験会

揖斐川町スポーツ推進委員会ではスポーツやレクリエーションの普及を目的とし、町民の皆さまに気軽に体験し触れ合う機会を提供するための事業活動として“スポレク体験会”を開催します。

今年は、「モルック大会」（木の棒を投げて数のピンを倒し得点を競うスポーツ）を開催します。子どもからお年寄りまで皆で楽しめるスポーツです。多くの方々のご参加をお待ちしております!!

■体験会 募集要項

- | | |
|-------|---|
| 日 時 | 12月13日（日） 9:30～12:00 【受付】 9:00～ |
| 開催場所 | 揖斐川健康広場 1階 アリーナ |
| 定 員 | 12チーム（1チーム 3名） |
| 対 象 者 | 健康な方 |
| 参 加 費 | 無料 |
| 持ち物等 | 動きやすい服装・上靴（体育館用）、タオル、スポーツドリンク等の飲み物 |
| 申込方法 | ①右記二次元コードよりお申込み
②揖斐川健康広場もしくは役場 3階社会教育課の各窓口にてお申込み
（申込用紙は、揖斐川健康広場または揖斐川町社会教育課に設置します。） |
| 申込締切 | 12月4日（金）〔定員になり次第締め切ります〕 |



■お問い合わせ 揖斐川健康広場 Tel 21-3100（火～日 8:30～17:15）※月曜休館

揖斐警察署 からのお知らせ

犯罪被害者に支援の手を! 性犯罪被害者相談電話#8103

～ひとりで悩まずにまずは相談してみませんか～

11月1日～12月1日は犯罪被害者月間です。

犯罪は何の前触れもなく、ある日突然襲ってきます。被害者にとって、「自分の気持ちを分かってくれる人が近くにいる」ことが大きな支えとなり「身近な人の優しさや温かい心配り」が何よりも支えになります。被害者の声に耳を傾け、「私たちにできること」や「命の大切さ」について考えることから始めてみませんか。



犯罪被害にあわれた方・支援者のためのポータルサイト ギュっとCH



揖斐川町トップアスリートバスケットボール教室開催のお知らせ

揖斐川町子どもたちが、スポーツの楽しさや魅力を知り、夢に向かって挑戦する姿勢を育むことを目的とし、バスケットボール教室を開催します。岐阜県で活躍されている選手・コーチから指導を受けたい方、バスケットボールに興味がある方、もっと上達したい方、ぜひご参加ください！

【日 時】 12月26日(土) 9:00~12:30 【受付】 8:45~
 【場 所】 揖斐川健康広場アリーナ(揖斐川町上南方853-49)
 【講 師】 すぎもとのり お 杉本憲男さん

経 歴

※一部抜粋

公益財団法人日本バスケットボール協会 コーチデベロッパー
 岐阜スーパース 2018~2026(選手・ヘッドコーチ・アソシエイトコーチ)
 JBA公認A級コーチライセンス
 コーディネーショントレーニング講師・講演



【参加料】 無料
 【定 員】 先着20名 ※観客席からはどなたでも見学可能です
 【対 象】 町内在住の小学4年~中学3年生
 バスケットボールに興味がある児童、生徒

こちらより
お申込みください



いびがわ地域クラブ、揖斐川ブレイズバスケットボール少年団に在籍していないバスケット経験者
 【持ち物】 飲み物、運動できる服装、シューズ(上靴)、ボール※持っている方
 【申込期間】 11月16日(月) 12:00~11月30日(月) 【定員になり次第締切ります】
 ~お問い合わせ先~ 揖斐川健康広場 TEL21-3100
 揖斐川町教育委員会社会教育課 TEL23-0124



▲プレー中の様子

来年は第40回の記念大会で、10月2日、3日に開催予定です。第40回記念大会は今年以上の規模で、楽しい大会になるように計画しております。揖斐川町の皆さんもこの機会に参加してみたいか★が

めむろだよりの発行の地杯全国ゲートボール大会開催されました。揖斐川町の皆さんこんにちは。芽室町では、8月22日、23日に、芽室南公園運動広場で第39回発行の地杯全国ゲートボール大会が開催されました。今大会は、北海道内外から48チーム、287人が参加しました。道内だけでなく道外からのチームも多数参加！

23日は、前日に行った予選リーグ戦の順位別に決勝トーナメントが行われ、栃木県から参加の「さくしろ」が優勝しました。参加されている方々からは、「とても楽しい大会だった。次回以降も参加したい!」とお言葉をいただき、次回大会も盛大に盛り上がることを間違いありません!

めむろだよりの

発行の地杯全国ゲートボール大会開催されました



▲グッズ開発中の西田君



▲取材中の様子

4月から揖斐川町役場でデュアル実習を行っている、揖斐高校3年 遠藤涼雅と西田蓮です。今回は、西田君がデュアル実習でどんなことをしているのか、私、遠藤が取材しました!

西田君は商工観光課で実習しており、町民のみなさんに配布する資料の整理や作成、オリジナルグッズの開発をしているそうです。特にグッズの開発には力を入れており、どんなデザインなら揖斐川町の魅力を伝えることができるのか、試行錯誤していました。

西田君は「資料の整理から、グッズの開発まで、どれも大変なことばかりだけれど、どの仕事にもやりがいを感じられることができ、とても有意義な時間を過ごしています」と話していました。

今後もデュアル実習での活動をお届けしていきます。

揖斐高生の職業体験!

デュアル実習を紹介

連載!

サル対策の極意! ~その3「柵は効果的に囲うべし~全面柵編~」~

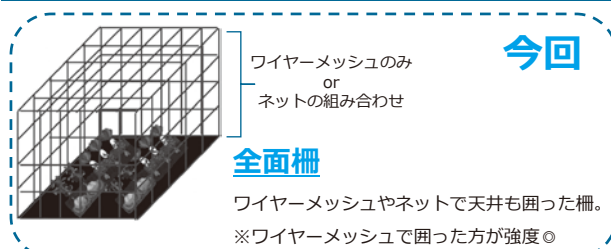
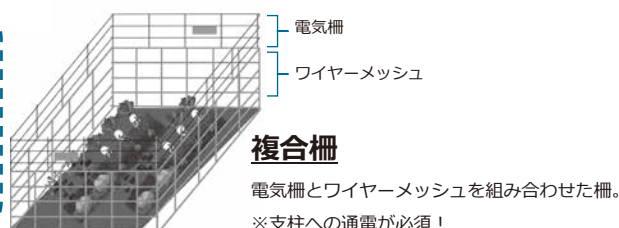


今回は、サル対策の3つの基本のうち「①エサを隠す」方法についてご説明しました。今回は、「②取られないように囲う」つまり「防護柵」についてご紹介します。サルに効果のある防護柵には、「全面柵」と「複合柵」の2種類があります。それぞれ、効果を高めるためのポイントがありますが、今回は「全面柵」を効果的に設置するためのポイントについてご紹介します。全面柵で重要なのは、「素材の選び方」と「柵の張り方」です。「全面柵を張っても破られるから意味がない!」と思っている方はいませんか? 実は、柵の素材や張り方を工夫することで効果を高めることができます! 特に大切なのは、

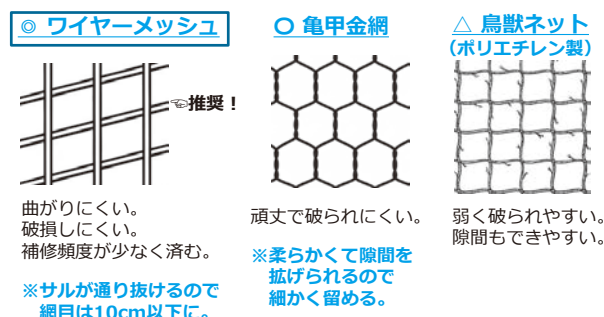
- ①サルに破られにくい素材を選ぶこと
- ②隙間を作らないよう細かくとめること
- ③素材の端や角は狙われるので大きく重ねること です。

さらに詳しい注意点は、下の図をご覧ください。

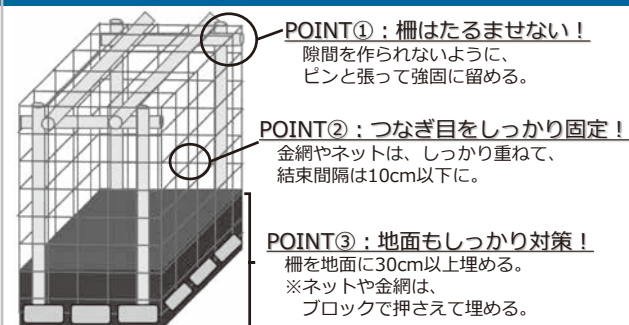
サルに効果的な2種類の柵



サルに効果的な素材



サルに効果的な柵の張り方



図ではワイヤーメッシュを最も推奨しています。鳥獣ネットは、サルに破られたり、引っ張られて隙間を作られたりすることがあります。しかし、すでに鳥獣ネットを設置している場合でも、ネットの弱点を補う「設置のポイント」を守れば、サルの侵入や、ネットの補修頻度を減らせます。図のような対策は、どうしても設置時に費用や手間がかかります。しかし、最初に素材や張り方を工夫することで、柵の破損を防ぎ効果が高まるだけでなく、その後の点検や修復の負担を減らすことが出来ます。最初から完璧な柵を作るのは難しいもの。だからこそ、設置するときに将来の負担まで考えて選ぶことが大切です。

次回は、「複合柵」を設置するポイントをご紹介します。

揖斐川町内のサルの群れの行動範囲や対策について、詳しくは町のホームページや揖斐川町鳥獣被害対策協議会のInstagramをご覧ください。



ホームページ



IBIGAWACHOUJU

Instagram

揖斐川町役場では、カスタマーハラスメントに対する基本方針を次のように定めました。

1. カスタマーハラスメントに対する基本的な考え方

揖斐川町では、住民の皆さまなどからの意見や要望は、満足度の高い行政サービスを提供するために貴重なものであり、大切な機会であると捉え、職員は丁寧かつ、真摯に対応しています。

しかし、寄せられる意見や要望の中には、職員の人格を否定する言動や威圧的な言動、不当な要求など、カスタマーハラスメント(以下「カスハラ」といいます。)に該当する行為も見受けられ、これらの行為は、対応する職員に精神的・身体的負担をかけ、健康被害や離職につながる可能性があります。

さらには、職場環境を悪化させるだけでなく、公務の円滑な遂行を阻害し、他の行政サービス利用者等へのサービス提供を妨げるなど、行政サービスの低下を招く重大な問題です。

揖斐川町は、カスハラに該当する行為から職員を守るとともに、質の高い、適正な行政サービスを提供するために、毅然とした態度で、組織的に対応していくことを基本方針とします。

2. カスハラとなる要件(定義)

以下の3つの要件を満たすものを、カスハラとします。

- ① 職員に対する、行政サービス利用者等からのクレーム・言動。
 - ② 職員の業務の内容や性質、その他の事情に照らして、要求の内容に妥当性がなく、社会全体において一般的に認められない、行きすぎたやり方であるもの。
 - ③ 職員の勤務環境が害されるもの。
- なお、要求行為を伴わなくても、②③の要件に該当する場合も、カスハラとします。

3. カスハラに該当する行為

カスハラに該当する行為として、以下のようなものが想定されますが、あくまで例示であり、これに限られるものではありません。

- ① 要求内容に妥当性がないとは。
 - ・ 行政サービスに瑕疵や過失がない。
 - ・ 揖斐川町の行政サービスの内容と関係がない。
- ② 行きすぎたやり方とは。
 - ・ 身体的な攻撃(殴る、蹴る、つばを吐きかける 等)
 - ・ 精神的な攻撃(脅し、侮辱的な言動、土下座の強要 等)
 - ・ 威圧的な言動(大声で責める、にらむ、モノを叩く 等)
 - ・ 差別的な言動
 - ・ 性的な言動(わいせつな言動、職員へのつきまとい 等)
 - ・ 継続的、執拗な言動(頻繁なクレーム、当初の話からのすりかえ、揚げ足取り 等)
 - ・ 拘束的な行動(長時間の拘束や電話、居座り 等)
 - ・ 妥当性を欠く金銭補償の要求や謝罪の要求
 - ・ 特定の職員を対象とした攻撃、要求
 - ・ SNSやインターネットなどへの投稿や誹謗中傷

4. カスハラに対する対応

役場の業務は、法令に基づいて公平性が求められるため、行政サービスの内容や対応に問題がなければ、毅然とした対応を取ります。

職員が安心して、日々の業務に従事できる職場環境を形成し、公平・公正かつ迅速な行政サービスを提供していくために、カスハラが行われた場合には一人の職員に任せきりにすることなく、複数の職員で対応します。

また状況に応じて、警告をする、対応を中止するほか、悪質な場合は警察に通報する、顧問弁護士に相談するなど、法的に対応します。

職員も、カスハラだからと決めつけて横柄な態度や言葉づかいになってしまわないよう、自身の接遇についても、細心の注意を払って対応します。

5. カスハラに対する対策

- ① カスハラに対する揖斐川町の対応を明確にし、行政サービス利用者等に周知します。
- ② カスハラが発生した場合に、職員が適切に対応できるよう、対応マニュアルの整備と活用、研修を行います。また、職員がカスハラの加害者とならないための意識啓発も行います。
- ③ 職員が、安心して業務に従事できる職場環境の整備を進めます。
- ④ カスハラを受けた職員の心身の負担を軽減するための相談体制を整備します。

令和 7 年度の決算をお知らせします

9 月 4 日(金) から 9 月11日(金) まで開催された令和 8 年第 4 回揖斐川町議会定例会において、令和 7 年度一般会計、特別会計および企業会計の決算が原案のとおり認定されました。
令和 7 年度決算について皆さんにお知らせします。

令和 7 年度会計別決算の内訳

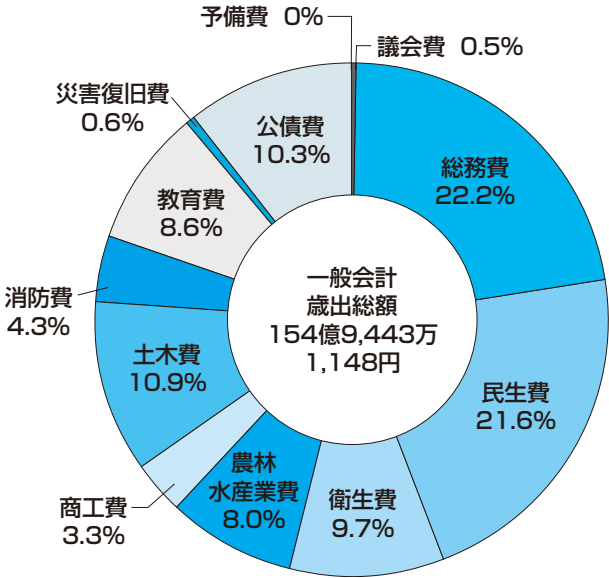
内 訳	歳入決算額	歳出決算額	差 引 残 額
決 算 総 額	189億5,999万1,315円	182億7,965万7,564円	6億8,033万3,751円
一 般 会 計	159億9,999万5,378円	154億9,443万1,148円	5億556万4,230円
特 別 会 計	29億5,999万5,937円	27億8,522万6,416円	1億7,476万9,521円
国民健康保険特別会計	22億5,145万9,633円	20億9,765万3,153円	1億5,380万6,480円
後期高齢者医療特別会計	4億5,601万3,522円	4億4,954万6,982円	646万6,540円
国民健康保険直診勘定特別会計	4,370万4,726円	4,154万2,559円	216万2,167円
杉原地域土地取得等特別会計	13万8,440円	13万8,440円	0円
徳山ダム上流域公有地化特別会計	1,704万734円	1,704万734円	0円
小水力発電事業特別会計	3,937万4,357円	3,937万4,357円	0円
企業用地造成事業特別会計	1億2,028万9,900円	1億2,028万9,900円	0円
北方財産区特別会計	1,372万1,046円	1,154万63円	218万983円
大和財産区特別会計	548万8,380円	534万5,000円	14万3,380円
谷汲財産区特別会計	211万7,223円	85万2,778円	126万4,445円
長瀬財産区特別会計	811万2,331円	175万2,450円	635万9,881円
横蔵財産区特別会計	253万5,645円	15万円	238万5,645円

公営企業会計

事 業	内 訳	歳入決算額	歳出決算額
水道事業会計	(収益的)	6億4,719万1,902円	5億8,417万2,620円
	(資本的)	3億2,004万3,766円	6億1,423万7,672円
下水道事業会計	(収益的)	11億9,134万3,140円	11億2,404万6,509円
	(資本的)	1億9,371万4,683円	4億6,912万4,901円

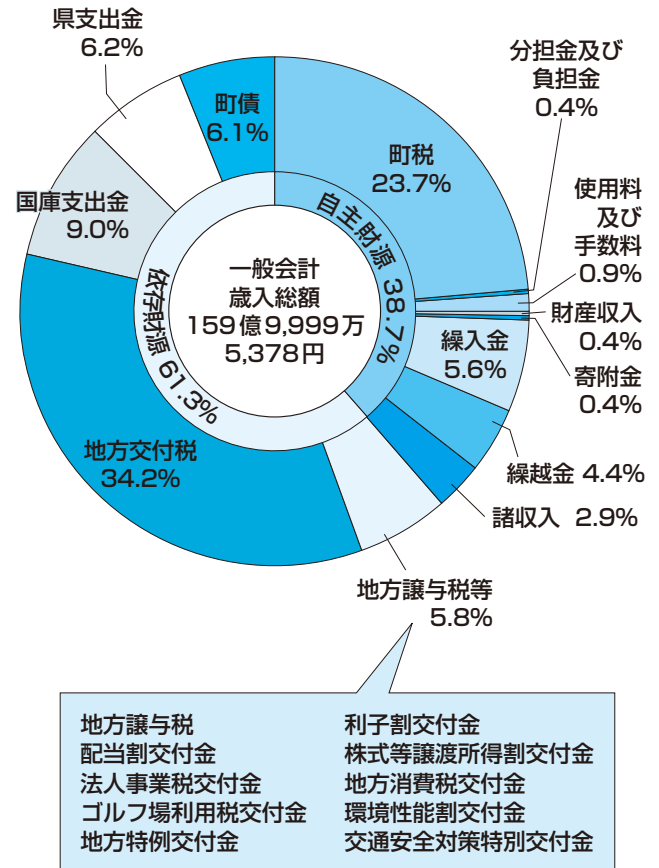
一般会計歳出

内 訳	歳出額
議会費 議会の運営に	8,357万5,753円
総務費 一般的な事務に	34億3,224万8,179円
民生費 福祉の充実に	33億4,486万9,524円
衛生費 健康づくりや清掃に	14億9,549万3,051円
農林水産業費 農林業などの振興に	12億3,154万3,579円
商工費 商工業や観光の振興に	5億1,636万5,458円
土木費 道路や河川の整備に	16億8,830万2,264円
消防費 消防や防災に	6億6,764万1,098円
教育費 生涯学習や学校教育に	13億3,332万128円
災害復旧費	9,893万7,600円
公債費 借入金の返済に	16億213万4,514円
一般会計歳出総額	154億9,443万1,148円



一般会計歳入

内 訳			歳入額
自主財源	町 税		37億8,910万2,495円
	分担金及び負担金		7,155万4,827円
	使用料及び手数料		1億4,103万8,114円
	財産収入		5,911万5,798円
	寄 附 金		6,227万5,376円
	繰 入 金		9億299万3,200円
	繰 越 金		7億109万7,098円
	諸 収 入		4億5,950万7,220円
依存財源	地方譲与税		2億1,956万7,000円
	利子割交付金		447万3,000円
	配当割交付金		2,331万2,000円
	株式等譲渡所得割交付金		3,393万7,000円
	法人事業税交付金		4,824万1,000円
	地方消費税交付金		5億5,345万6,000円
	ゴルフ場利用税交付金		1,872万4,895円
	環境性能割交付金		2,332万1,000円
	地方特例交付金		1,050万6,000円
	交通安全対策特別交付金		114万9,000円
	地方交付税		54億6,429万円
	国庫支出金		14億4,725万155円
	県支出金		9億9,548万4,200円
	町 債		9億6,960万円
	一般会計歳入総額		159億9,999万5,378円



11月11日から17日は「税を考える週間」です



テーマ これからの社会に向かって

国税庁では、毎年11月11日から17日を「税を考える週間」として、国税庁ホームページでさまざまな情報を提供しています。

詳しくは、国税庁ホームページをご覧ください。
<https://www.nta.go.jp>

税を考える週間

検索



「税を考える週間」税についての習字、作文などの入賞作品の展示について

1 展示期間および場所

アクアウォーク大垣

11月10日(火)～11月17日(火) 午前

(以降大垣税務署内にて展示)

2 展示物(大垣税務署管内の入賞者のみ)

(1)小学生の「税に関する習字」

【主催】東海納税貯蓄組合連合会

(2)中学生の「税についての作文」

【主催】国税庁、全国納税貯蓄組合連合会

(3)税に関する絵はがきコンクール

【主催】一般社団法人 大垣法人会

お詫びと訂正

9月に敬老事業の対象者の皆さまに地域振興券とともにお送りした「地域振興券加盟店一覧」に、一部加盟店の記載漏れがありました。

お詫び申し上げます。訂正いたします。

【追加】

大和

(株) いび茶の里 TEL 23-1611

小島

焼肉東陽 TEL 22-3989

胄永

杉原サイクル TEL 22-3127

谷汲

えのきや TEL 55-2421

健康福祉課

TEL 22-2790

障がいに関する相談

日常生活での困りごとや障がい福祉サービスなどについて、相談支援事業者による巡回相談および身体障害者相談員による相談を実施します。相談は無料で秘密は固く守られますので、安心してご相談ください。

※事前に電話予約が必要です。

日時

11月10日(火)

(1件あたり50分)

①10時②11時

場所

揖斐川町役場 1階第1会議室

健康福祉課 障がい福祉係

TEL 22-2790

「徳山ダム上流に実のなる木を植えよう大作戦」の参加者を募集します

NPO 揖斐自然環境レンジャーと生命の水と森の活動センターでは、多くの生き物が生息できる豊かな森林づくりを目指して、徳山ダム上流部にある通称「コア山」に野生動物のエサになる実のなる木の植樹活動を行っています。

今回で26回目となるこの活動への参加者を次のとおり募集します。

日程

・実施日 11月7日(土)少雨決行

・受付 9時～9時30分

・植樹活動 10時45分～12時

・講話 14時15分～14時45分

・種まき 14時50分～15時30分

・解散 15時45分

場所

・集合・講話 水と森の学習館

・植樹 徳山ダム上流、通称「コア山」

持ち物

・作業ができる服装・手袋・防寒具

・雨具・着替え・弁当・飲み物

募集人数 60名程度

参加費 無料

募集締切

・11月4日(水)

※定員になり次第締め切ります。

水と森の学習館

TEL 52-0166

青年・成人講座 参加者募集

本町では青年・成人講座として、下記教室を開催します。

①【初めての終活セミナー】

人生最後に後悔しないための準備とエンディングノートの作成

あなたと家族の「これから」を考えてみませんか？初めて考える方へコツをご紹介します。

②【正月飾り・アレンジ花教室】

お正月に向けて和室・洋室に似合うアレンジ花の飾りを今年は手作りしてみませんか？どなたでも気軽に作る事ができて、迎春の雰囲気癒されます。

募集期間

①11月9日(月)～12月2日(水)

②11月9日(月)～12月16日(水)

※土日祝日を除く8時30分～17時15分

申込方法

左記までお電話で申込みください。

※②は定員(30名程度)になり次第締め切ります。

※警報等発令の場合は中止する場合があります。

教育委員会 社会教育課

TEL 23-0124(内線1655)

開催教室	開催日	開催時間	場 所	受講対象：人数	参加費	講 師
①初めての終活セミナー	12/5(土)	10:00～11:00	地域交流センターはなもも多目的室1	希望者	無料	ファイナンシャルプランニング技能士
②正月飾り・アレンジ花教室	12/22(火)	19:00～20:00		町内在住在勤30名	3,000円(材料代)	河瀬 和子

9月の
ご長寿さん



この度、次の方が長寿者褒賞を受けられ、長寿のお祝いが贈られました。
皆さん、これからもお元気で長生きをしてください。



まきみら 牧村 鈴枝さん
95歳(三輪)

※次の方はお名前のみ掲載させていただきます。

くぼた みねこ
久保田三祿子さん(三輪)95歳

Information Room
シルバー人材センターからの
お知らせ

■お正月前に襖・障子の張替えを

センターでは、障子、襖、網戸の張替えをしています。年内の張替えは、お早めにお申し込みください。

その他お困りのことがございましたら、まずはお電話にてご相談ください。お見積りは無料です。

(仕事例)

- *草刈り・草取り
- *資源ゴミ等の分別
- *病院などの付き添い
- *家事援助(洗濯、掃除、窓拭き、食

手作り、買い物、片付け)

*軽作業

*社内清掃

その他の仕事もお問い合わせください。

■会員募集

一緒に働ける会員を募集しています。興味のある方はご予約の上説明会にお越しください。

《今月の事業および入会説明会》

・日時 11月4日(水)、17日(火)

10時開始(約1時間)※要予約

・場所 揖斐川町福祉総合支援センター 12階 会議室

問(公社)揖斐川町シルバー人材センター

TEL 23-10907

Information Room
11月9日～15日は
「秋季全国火災予防運動」
「火の確認いい日を支えるいい習慣」

揖斐郡消防組合消防本部よりお知らせします。これからの季節は空気が乾燥し、火災が起きやすくなります。大切な命と財産を守るため、ご家庭の防火・防災体制をもう一度見直ししましょう。

《火災を防ぐ「4つの習慣」》

- ①寝たばこは絶対にしない、させない。
- ②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- ③コンロを使うときは火のそばを離れない。
- ④コンセントはほこりを清掃し、不要なプラグは抜く。

《万が一に備える「6つの対策」》

- ①ストーブやコンロは安全装置付きの

ものを使用する。

- ②住宅用火災警報器を点検し、10年を目安に交換する。
- ③部屋を整理整頓し、寝具・衣類・カーテンは防炎品を使う。
- ④消火器を備え、使い方を確認しておく。
- ⑤お年寄りや身体の不自由な人の避難経路・方法を確保する。
- ⑥防火防災訓練への参加など、地域ぐるみの防火対策を行う。

一人ひとりの意識と少しの注意が、大きな災害を防ぎます。火気の取り扱いには十分注意しましょう。

問 揖斐郡消防組合消防本部予防課

TEL 32-2553





点字版・音声版をご希望の方は、県秘書広報課へご連絡ください。音声版には、CD（デジター編集）での提供と音声用のテキストデータの配信もあります

PICKUP

支える人も、支えたい。一人で抱え込まない社会へ ■問／県地域福祉課 ☎058(272)8435

ケアラーとは、家族などのケアを日常的に担う人のことです。「家族のケアは家族・女性がするのが当たり前」という考え方のために、悩みをひとりで抱え込み、孤立してしまうことがあります。岐阜県では、ケアラーが自分らしく生き、家族も自分自身も大切にして暮らせる社会を目指しています。ケアは社会全体で支えるべき課題です。支える人にも支えられる人にも、自分らしく生きる権利があります。

もしかして、ケアラーかも？

さまざまな理由により、援助を必要とする身近な人に対し、無償で介護・看護・日常生活上の世話をを行う人のことをいいます。

相談窓口は
コチラから

誰かを支えるあなたにも、支えが必要です

ご自身の健康や人生も大切です。家族のケアを一人で抱え込まず、遠慮なく相談窓口へお話しください。適切な支援を受けることで、支える人も支えられる人も、より安心して日々を過ごせます。

サービスを利用して、
身体的な負担が減り、
楽になった！

ケアを安心して
任せることができ、
自分の時間が
できた！

悩みや不安を
共有して、心が
軽くなった！

支援内容
の一例

福祉サービスや介護保険サービスを活用する
レスパイトサービス（一時預かり）を利用する
ケアラー同士で悩みを話したり、情報交換をする



例えば...

高齢の
親の介護を
している

病気の家族の
看護を
している

親の代わりに
兄弟の世話を
している

障がいのある
子どもを
育てている

仕事と介護の両立や、子育てと介護が重なるダブルケア、高齢者同士の介護など、ケアのあり方はさまざまです。誰もが当事者になる可能性があり、決して他人事ではありません。

事業主の皆さんへ

これからは仕事と介護の両立支援が不可欠です。環境を整えることが大切な人材を守り、離職防止につながります。ケアを抱える従業員を職場全体で支えましょう。

企業向けケアラー支援オンラインセミナー

2026年11月19日(木) 14:00~15:30

仕事と介護の両立を支える職場づくりが学べます！

◆参加費：無料

◆定員：100名(先着順)

申し込みはこちら▶



TOPICS

01 ぎふエコアクション県産品
プレゼントキャンペーン実施中！

毎日の生活の中で取り組める省エネ行動と、CO₂削減量を見える化するサイト「ぎふエコアクション」では、現在、CO₂削減量に応じて貯めたエコポイントで応募できる県産品プレゼントキャンペーンを実施しています。この機会に「ぎふエコアクション」に登録し、楽しく得する省エネ行動に参加しましょう。

- キャンペーン期間／10月1日(木)～令和9年2月12日(金)
- 登録方法／右記二次元コードから
- 問／県省エネ・再エネ社会推進課／☎058(272)8835

登録は
コチラから

02 「共家事・共育」知っていますか？

県では、性別に関係なく、家事や育児を家族で協力して担う「共家事(ともかじ)・共育(ともいこ)」を推進しています。その一環として、各家庭における家事・育児の役割分担を見える化し、より望ましい家事・育児の分担について話し合うきっかけづくりのため、「共家事・共育チェックシート」を提供しています。各家庭にあったチェックシートを選んでご利用ください。

- 問／県男女共同参画推進課
- ☎058(272)8237

Q 共家事・共育

詳細は
コチラから

03 「ぎふっこ応援キャンペーン」開催

県では、子ども・子育てにやさしい社会の実現に向けて取組を推進しています。このたび、「秋の子どもまんなか月間」に合わせて、ぎふっこカードの特別企画「ぎふっこ応援キャンペーン」を開催します。参加店舗を利用し、「ぎふっこカード」又は「ぎふっこカードプラス」を提示すると、期間中だけの特別な特典やサービスを受けられます。また、デジタルスタンプラリーも併せて開催します。

- 開催期間／11月1日(日)～11月30日(月)
- 場所／県内全域
- 問／県子育て支援課／☎058(272)8077

詳細は
コチラから04 【広報紙を読んで応募！】
秋の広報紙プレゼントキャンペーン

合言葉を入力し、アンケートに回答のうえ応募いただいた方の中から、抽選で10名様にプレゼントをお届けします。今回は、乾燥する季節に喉を潤す飲み物を用意しました。応募は、公式LINEアカウント「岐阜県」を友だち登録のうえ、メニュー内「広報紙を読んでプレゼントに応募」からご応募ください。合言葉は「岐阜の飲み物」です！

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。(飲み物はアルコール飲料ではありません。)

- 応募締め切り／11月30日(月)まで
- 問／県秘書広報課／☎058(272)1114

友だち登録は
コチラから

この情報は令和8年9月29日現在のもです。紙面に載せられない、最新のイベントや募集・案内などは岐阜県公式ホームページ「イベントカレンダー」に多数掲載しています。県秘書広報課☎058(272)1111(代)

イベントカレンダー▶



婚姻 幾久しくお幸せに

Marriage

夫	妻
中村 亘輝 (下町)	梅村 望友 (美濃市)
ヴァンデンエインドゥ (ベルギー)	小林 礼奈 (下新町)
ジェレミー	

出生 お誕生おめでとう

Birth

地区	赤ちゃん	お父さん	お母さん
福島	中尾 嶺心	樹	菜々保
五反田	山川 莉聖	大季	有咲
小津	大平 橙矢	武尊	倫実

人口

Population

	人口 (対前月比)	男	女	世帯数 (対前月比)
合計	17,982 (△ 43)	8,693	9,289	7,742 (△ 8)
揖斐川地域	13,884 (△ 25)	6,753	7,131	5,755 (1)
谷汲地域	2,465 (△ 9)	1,177	1,288	1,074 (△ 3)
春日地域	643 (△ 2)	302	341	363 (△ 1)

	人口 (対前月比)	男	女	世帯数 (対前月比)
久瀬地域	630 (1)	297	333	321 (0)
藤橋地域	124 (△ 7)	62	62	83 (△ 4)
坂内地域	236 (△ 1)	102	134	146 (△ 1)

出生 4 人 / 死亡 22 人 / 転入等 22 人 / 転出等 47 人
(令和8年10月1日現在)

広報掲載希望の方は届出の際、窓口にて「広報掲載申込書」をお出してください。

窓口では、婚姻、養子縁組などの戸籍届出に來られた方の本人確認を行っています。(詳細は町のホームページに掲載)

11月の 主な行事

掲載行事については、中止または延期になる場合があります。

8日(日) いびがわマラソン2026

- メイン会場 地域交流センター周辺
- ゴール会場 揖斐川町役場
- スタート [ハーフ] 9:30 [ウォーキング]

ハーフ後方より

問 いびがわマラソン実行委員会
☎23-0117

14日(土) いびがわ産業 15日(日) フェスティバル

- 場所 地域交流センターはなもも、JAいび川本店駐車場
- 内容 飲食ブース、ステージイベント、体験コーナー ほか

問 農林振興課 ☎22-2111 (代表)

22日(日) かすが盆踊り

- 場所 春日体育館
- 内容 盆踊り
- 問 春日盆踊り実行委員会
☎090-5633-0708 (藤原)

納期限の お知らせ

11月2日(月)	町県民税	3期分	11月30日(月)	国民健康保険税	7期分
	国民健康保険税	6期分		後期高齢者医療保険料	5期分
	後期高齢者医療保険料	4期分			

納め忘れのないように早めに納めましょう。また、口座振替で納付されている方は、納期限前日までに預貯金残額の確認と入金をお願いします。

11月

HAPPY Birthday

～この町に生まれてくれてありがとう～



磯川 莉愛 ちゃん
(谷汲)

1歳の誕生日おめでとう!
これからも素敵な笑顔いっぱい元気になってね!
だいすきだよ!



橋村 桔依 ちゃん
(小島)

1歳の誕生日おめでとう!
これからたくさん食べて大きくなってね!



成瀬 龍 くん
(大和)

5歳の誕生日おめでとう☆
これからも元気いっぱい大きく育ってね!



増田 結愛 ちゃん
(揖斐)

6歳の誕生日おめでとう!
これからも元気いっぱい楽しんでね!



西川 樹季 くん
(清水)

4歳の誕生日おめでとう!
家族みんなで、楽しいこといっぱい1年にしようね。

